

平成30年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 - 4 -		
① 重点項目	特別活動	
② 重点課題	部活動やボランティア活動、異年齢交流を通しての学校生活の充実	
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外の行事に対して生徒会執行部は活発だが、一般生徒の意識はそれ程高くない。</li> <li>・平成29年度は、校内行事に87%の生徒が主体的に参加できたと答えていた。</li> <li>・平成29年度はボランティアサポーター登録数65名、参加延べ人数145名が校外ボランティアに参加し充実感を得ている。しかし、3年間に一度も参加しない（過去3年間平均70.5%）など活動意欲が不十分な生徒も見受けられる。</li> <li>・部登録はしているが活動していない生徒や、安易に退部する生徒も多く見られる。継続して部活動を続けている生徒は、全体の64%である。</li> </ul>	
④ 達成目標	①ボランティア等の校外活動の参加数	②部活動に積極的に活動している生徒の割合
	延べ人数 200名以上	50%以上（12月にアンケート実施）
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会及び各種委員会と連携を図りながら、活動の輪をひろげる。</li> <li>・地域交流や校内外でのボランティア活動、クリーン活動、家庭クラブ活動に対する広報活動を活発にし、参加していることへの自覚を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の必要性や魅力を知らせ、体力や技術、意識の向上とともに、人間的な成長と個性の伸長を実感させ、学校生活の充実を図る。</li> <li>・部長会議を各学期2回実施し、状況把握を行うとともに、必要な対策を行う。</li> </ul>
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月末現在、ボランティアサポーター登録数69名（昨年度65名）、参加延べ人数181名（昨年度末145名）が校外ボランティアに参加し充実感を得ている。10月の上市駅清掃では、さわやか委員会の生徒を始め計40名の生徒が参加するなど意識向上が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年51%、2年58%、3年62%、全学年平均57%の生徒が部活動を積極的に行ってきた（行っている）と答えていた。</li> <li>・部活動の4月から12月にかけての継続率については、1・2年生で約66.8%が継続（継続しなかった者の中には登録のみで活動していない者も含む）している。</li> <li>・各種全国大会・北信越大会への参加者は、一昨年32名、昨年45名、本年度2月3日時点29名で推移している。</li> </ul>
⑦ 具体的な取組状況	<p>地域との交流として、文化部を中心に地元ショッピングセンターに行き、作品展示や発表を行った。また、銀行での作品展示も行った。書道部やダンス部などは多方面から出演依頼を受け、地域に出かけ発表を行った。ホームページに試合予定、大会成績等を積極的にアップしたり、活動掲示を増やしたりした。</p>	
⑧ 評 価	B	A
⑨ 学校評議員の意見	<p>ボランティア活動に、生徒も先生も積極的、意欲的に取り組んでいる。目標、課題をもって参加して態度、笑顔が素晴らしい。HPで地域に情報が発信されている。生徒は3年間で多くの良い経験を積んでいる。地域を知る、地域に入っていくことは卒業してからの視野の広い生き方への良いきっかけとなると考える。</p>	
⑩次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の創立100周年記念事業が、生徒を主体とする内容で計画されていることから、生徒達の意識を高めつつ円滑に準備作業を進める。</li> <li>・運動部、文化部ともに、活動の活性化を図る。また、年間の活動計画に休養日を設けるなど顧問の負担を考慮するとともに、エキスパートや外部コーチの活用を進める。</li> <li>・部活動を始めボランティア等、校外活動に多くの生徒が活躍できる環境作りに努める。活動内容を外部に発信し、本校のPRをはかる。</li> </ul>	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)